

# 資料 1

## 北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査結果の概要

### 1 調査の概要

#### (1) 調査目的

「元気発進！子どもプラン」の次期計画【平成 27～31 年度】（「子ども・子育て支援事業計画」を含む）の策定に当たり、計画をより実効性のあるものとするため、家庭の状況や子育ての実態、保護者の意識などを把握することや、教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算定することを目的に実施した。

#### (2) 調査対象 17,000 人（住民基本台帳より無作為抽出）

【内訳】・就学前児童の保護者 8,000 人 ・小学生の保護者 3,000 人  
・中学・高校生の保護者 3,000 人 ・18 歳以上 40 歳未満の男女 3,000 人

#### (3) 調査期間 平成 25 年 10 月 11 日～11 月 18 日（郵送調査）

#### (4) 回収結果 有効回収数 6,850 件（有効回収率 40.3%）

### 2 主な調査結果

#### ■ 就学前児童、小学生、中学・高校生の保護者共通

- Q 1 子どもの人数は、  
・就学前児童では、「2 人」「1 人」「3 人」の順に多い。  
・小学生、中学・高校生では、「2 人」「3 人」「1 人」の順に多い。
- Q 2 子育て（教育を含む）を主に行っている人は、  
・就学前児童では、「父母ともに」が 56.4%、「主に母親」が 41.9%  
・小学生では、「父母ともに」が 59.7%、「主に母親」が 36.6%
- Q 3 母親の就労状況で『就労している』は、  
・就学前児童では 51.2%、小学生では 64.5%、中学・高校生では 71.9%
- Q 4 保護者が子育てに関して悩みや不安を『感じる』のは、  
・就学前児童では 44.7%、小学生では 51.7%、中学・高校生では 69.1%
- Q 5 保護者の悩みや不安の内容は、  
・就学前児童と小学生では、1 位「子どもを叱りすぎているような気がする」と  
・中学・高校生では、1 位「卒業後の進路に関すること」
- Q 6 保護者がより力を入れてほしい子育て支援策は、  
・就学前児童と中学・高校生では、1 位「子育てに関する公的な経済的支援」  
・小学生では、1 位「いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設」
- Q 7 子育てが地域の人に支えられていると『感じている』のは、  
・就学前児童では 44.3%、小学生では 59.9%、中学・高校生では 50.1%
- Q 8 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が、『とれている』と思うのは、  
・就学前児童は 33.5%、小学生では 46.8%、中学・高校生では 44.8%

#### ■ 就学前児童の保護者

- Q 9 教育・保育事業（平日）を定期的に利用している保護者の割合は 73.5%で、その内容は、  
・幼稚園が 52.3%、認可保育所が 41.5%、幼稚園の預かり保育が 8.4%

- Q10 利用している教育・保育事業（幼稚園、認可保育所）の満足度は、  
・幼稚園の満足1位は「安全対策」、不満1位は「保育料、利用料等」  
・認可保育所の満足1位は「食事」、不満1位は「保育料、利用料等」
- Q11 教育・保育事業（平日）の利用希望は、  
・1位「幼稚園（通常の就園時間の利用）」60.2%、2位「認可保育所」37.0%

#### ■ 小学生の保護者

- Q12 放課後児童クラブの利用状況は、  
・「利用している」が17.8%、「利用していない」が82.8%
- Q13 利用している放課後児童クラブの満足度は、  
・満足1位は「衛生対策」、不満1位は「開所日、開所時間」
- Q14 放課後児童クラブを利用している人および開所時間が理由で利用していない人の利用希望は、  
・平日が81.5%、土曜日が49.8%、日曜日・祝日が11.2%、長期休暇が86.9%

#### ■ 中学・高校生の保護者

- Q15 子どもに携帯電話を持たせているかは、  
・「持たせている」が75.1%、「持たせていない」が24.7%
- Q16 子どもが持っている携帯電話のフィルタリングサービスの有無は、  
・「付けている」が61.4%、「付けていない」が34.2%

#### ■ 小学生（高学年）、中学・高校生本人

- Q17 子どもが希望する子育て支援策は、  
・小学生（高学年）では、1位「放課後や休みの日に、安心して遊べ、学び、体験ができる施設や場所」  
・中学・高校生では、1位「学業や進路、就職に関する不安や悩みを気軽に相談できる場所」

#### ■ 18歳以上40歳未満の男女

- Q18 独身者の結婚に対する考えは、  
・「結婚したい」が81.1%、「結婚するつもりはない」が7.5%
- Q19 独身でいる理由は、  
・1位「時間やお金を自由に使いたい」、2位「適当な相手にまだめぐり合わない」
- Q20 結婚への国・自治体の支援の考え方は、  
・肯定的な意見の「ある程度は支援をすべきだ」は41.5%で、否定的な意見の「あまり効果があるとは思えない」「支援はそぐわない」は46.1%
- Q21 理想的な子どもの人数と持つつもりの子どもの人数に差が生じる理由は、  
・1位「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」、2位「年齢上の理由から」、3位「育児の心理的、肉体的負担が大きいから」

※ 質問のうち、Q5、6、9、11、17、21は複数回答。